

PTA活動紹介		高P連受付番号	4	PTA研修会アンケート結果
PTA(学校)名	愛知県立半田特別支援学校桃花校舎PTA	部門	特別支援	<p>* 研修会についての意見・感想</p> <p>◎ とても分かりやすく、大変勉強になりました。親の関わりで本人の成長を妨げていたのかもしれないと、反省することもできました。親ももっと大らかに本人の成長を見守りたいと思います。</p> <p>◎ 体は母より大きくなりましたが、少し幼いので、家庭で特に性のことで問題に思うようなこともなく過ごしています。まだ、興味が無いのか、上手に隠しているのかわかりませんが、相談しやすい身近な大人でありたいと思いました。</p> <p>◎ なかなか性の問題は、私の方が聞きずらく、お互い触れずにきていたので、勉強になりました。</p> <p>◎ 息子はまだ性に目覚めてない様に思いますが、大変勉強になり、接し方等注意していきたいと思いました。</p> <p>◎ 子供の成長に、ダメ、否定はしてはいけないと勉強させていただきました。実行するのはなかなか大変な事だと思いますが、親も成長していきたいと思います。</p> <p>◎ 色々勉強になりました。子供と向き合っていきます。</p> <p>◎ 親として日頃から子供を観察し、気づき、まずは、子供を知ることが大切なことが分かりました。そんな中、子どもから相談してくれるような存在でいたいと思いました。</p> <p>◎ 木全先生のお話は、とても参考になりました。子供は女なので、もう少し詳しくお話が聞けたら良かったです。(マスターベーションやセックス等)</p> <p>自分は子供との関係は、うそや秘密のない、何でも話し共有することが大切だと思っていましたが、それは、子供の自立の妨げになることもある・・・ということを知り、びっくりしました。</p> <p>今後は程よい距離間を持ち、見守っていききたいと思います。</p> <p>◎ 失敗しないように親が先に手を出していました。経験も(学び)も大切です。失敗も成長するために必要なもので、見守るようにしたいです。頭ごなしでなく、本人の気持ちをしっかり受け止めて接したいと思いました。具体的で大変わかりやすかったです。</p> <p>◎ とても聞きやすく、内容が深いのに面白く引き込まれる話でした。</p> <p>家に帰ったら、アンとサリーの話をしてみようと思います。</p> <p>見て見ぬふりは、大切で、そのせいで本人が困ることになって、SOSを出したら、その時に力を貸そうと思っても、学校や世の中では通用しないことも多く感じます。また、本人も1つの秘密を守るために、どこでSOSを出したら良いかわからず、大ごとになってしまうこともあるので、どのタイミングでスポットを当てようか、親として悩む時もあります。親ではない支援者が必要だとよく感じますが、なかなかそういった支援者が見つけれない気がします。学びの場の獲得も難しく感じます。</p> <p>◎ 子どもがトラブル(例:スマホのサイトでの多額な請求や、彼女との交際など)を起こした時、否定的な言葉(ダメや禁止の言葉)を言ってしまいがちですが、本人の気持ちを考えて声掛けをする。頭ごなしに注意するのは控えようと思いました。</p> <p>何かあったら話をしてくれる、相談してくれる関係を築いていきたいです。</p> <p>◎ 今のところ、性について困った事はあまりなかったのですが、何も無いことが逆に不安に思います。社会人になってから、いろいろ問題が起きそうなので、今日の講演会の内容を参考にしたいと思います。デート学習、とてもいいと思います。ぜひ参加させてみたいと思いました。</p> <p>◎ 障害の有無に関わらず、否定をするのではなく、話をよく聞いて「見守る」ことも大切だと分かりました。</p> <p>◎ 子どもたちにもお願いしたいと思いました。他の事例もお聞きしたいです。</p> <p>◎ 性の問題はなかなか取り組みができなかったのですが、とても必要な事だと実感しました。わかっているけどできないのが現状です。父親に言うだけで、父親は「そのうちわかるもんだ！」と私の話を聞く耳を持たなかったのですが、夫婦で話しあって、しっかり取り組もうと思いました。子供は男の子です。</p> <p>◎ 私は子供にダメや禁止ばかり言ってきました。なぜそういうことをするのか、理由がある。その理由を分かってあげることが大切だと思いました。性のことに関しては悪い事ばかり想定してしまっていました。性の成長もプラスにとらえていきたいです。</p> <p>◎ 子どもは女の子です。まだ幼いですが、テレビドラマの恋愛ラブシーン等も見ているので、どのように性の問題に取り組んでいこうかと考えていました。お互いを大事に思う気持ちを育てて、全てを禁止するようなことは、してはいけないのだと勉強になりました。色々心配な事がありますが、デート学習もどこかで取り入れてやってもらえたらありがたいと思いました。今まで煩わしいから恋愛をほしくないと思ってきましたが、恋愛することによって、心も体も磨かれるので、もっと恋愛を勧めようと思いました。</p>
活動テーマ	講演「(しょうがい)のある思春期・青年期の子どもたちと(性) ー大人になりゆく自分を育むー」			
キーワード	性のトラブル	自己肯定感	共生	
開催日	平成28年10月20日(木)			
場所	桃陵高校医学講義室			
時間	10時00分～12時00分			
参加者	保護者43名 内訳 1学年保護者 9名 2学年保護者 8名 3学年保護者14名 大府市内中学校特別支援学級保護者 12名			
趣旨	保護者として、思春期、青年期の子どもたちの(性)について理解を深め、トラブルを未然に防ぐ対策を考える機会とする。			
活動ポイント	講演を聞き、家庭での対応の仕方を知り、子どもたちの自立を支える			
主体委員会名・講師名等	日本福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科 教授 木全 和巳 氏			
<p>「講演のポイント」</p> <p>性と生の学びで一番大切なことは、自分のからだところが大切に思えるような自分を育てていくことつまり「大切なわたし」です。「自己肯定」の感覚です。発達に障がいがあっても障害も含めて「大切なわたし」という感覚です。この感覚があって、他者を「大切なあなた」として、はじめて尊重できるようになります。そのために、からだところの科学の知識、かけがえなさとしあわせを求めるための人権という価値、そして、男女が、人と人が、共に生きるという共生の思想、そして、人としてひとり立ちしていく自立と自律に向けての発達のための教育が必要になります。</p> <p>いくつかの具体的な事例を交え生徒の実態に即した講演をいただきました。</p> <p>事例 スマホのサイトでの多額な請求、彼女との交際など。</p> <p>事例 デート学習(映像を通して異性とかかわるロールプレイの学習の様子を考察しました)</p> <p>思春期「恋愛」という特定の異性(同性もある)への性的な興味や関心も芽生えます。独占と排除というエロスの(性愛特有)な人間関係を培うような対人関係への組み替えも 始まります。</p> <p>性別違和感や同性愛などのセクシャル マイノリティへの配慮も必要です</p> <p>このような、主に同性との友人づくりや主に異性とのつきあい方と性的衝動の対応は、発達障がいのある子どもにとっては、苦手な課題になります。</p> <p>本人たちの気持ちを大切にしながら、関わる力をロールプレイなどを通して身に付けていくことや、自分の機能障がいについて知り、受けとめ他者にも知らせていくような取り組みも必要になります。</p>				
				
メール送信先	info@aichikoupren.org			